OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	センターだより　大阪大学大型計算機センターニュース　第55号（Vol.14　No.3）
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1984, 55, p. 1-22
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65625
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

昭和59年度 下半期プログラム相談室の担当表

昭和59年度下半期のプログラム相談室の担当は次のとおりですので、プログラム相談室を受けられ方は、2階のプログラム相談室で相談票に相談事項を記入のうえ御相談ください。

	10:00 ～ 12:00	1:00 ～ 3:00	3:00 ～ 5:00
月	氏名：青山　卓史 所属：阪大・工学部 専門：4,10 --- 氏名：浜田　　糾 所属：阪大・基礎工学部 専門：4,8,10,11	氏名：青野　慎吾 所属：阪大・工学部 専門：4,10	氏名：浜　重一朗 所属：阪大・基礎工学部 専門：4,8,10
火	氏名：斉藤　善朗 所属：阪大・工学部 専門：4,10 --- 氏名：西村　健二 所属：阪大・工学部 専門：4,10	氏名：鳩野　逸生 所属：阪大・工学部 専門：4,10 --- 氏名：武市　博文 所属：阪大・工学部 専門：5,16	氏名：家本　　修 所属：阪大・工学部 専門：4,10,11,14,15
水		氏名：中富　英治 所属：阪大・工学部 専門：4,7,10,11	氏名：田中　明人 所属：阪大・薬学部 専門：4,10
木	氏名：佐々木良明 所属：阪大・工学部 専門：4,10	氏名：辻本　恵一 所属：阪大・工学部 専門：4,10 --- 氏名：小野寺孝義 所属：阪大・人間科学科 専門：15	氏名：高木　達也 所属：阪大・薬学部 専門：4,6,10,11
金	氏名：多田　栄一 所属：阪大・基礎工学部 専門：4,10,11	氏名：武知　英夫 所属：阿南工業高等専門学校 専門：4,10,13	氏名：柳瀬　　章 所属：大阪府立大学 専門：4,6,10,11
土	氏名：山田　　稔 所属：阪大・工学部 専門：4,15		

	10:00 ～ 12:00	1:00 ～ 3:00	3:00 ～ 5:00
月	氏名：青山　卓史 所属：阪大・工学部 専門：4,10 --- 氏名：浜田　　糾 所属：阪大・基礎工学部 専門：4,8,10,11	氏名：青野　慎吾 所属：阪大・工学部 専門：4,10	氏名：浜　重一朗 所属：阪大・基礎工学部 専門：4,8,10
火	氏名：斉藤　善朗 所属：阪大・工学部 専門：4,10 --- 氏名：水野　　洋 所属：阪大・工学部 専門：4,10	氏名：鳩野　逸生 所属：阪大・工学部 専門：4,10	氏名：家本　　修 所属：阪大・工学部 専門：4,10,11,14,15
水		氏名：打浪　清一 所属：阪大・工学部 専門：4,5,10	氏名：田中　明人 所属：阪大・薬学部 専門：4,10
木	氏名：佐々木良明 所属：阪大・工学部 専門：4,10	氏名：辻本　恵一 所属：阪大・工学部 専門：4,10	氏名：高木　達也 所属：阪大・薬学部 専門：4,8,9,10,14
金	氏名：田中　直樹 所属：阪大・工学部 専門：4,10	氏名：北村　義弘 所属：阪大・工学部 専門：4,10	氏名：柳瀬　　章 所属：大阪府立大学 専門：4,6,10,11
土	センター職員		

専門分野

1. ALGOL
2. APL
3. COBOL
4. FORTRAN
5. LISP
6. PASCAL
7. PL/1
8. ファイル
9. 図形処理
10. TSS
11. 数値計算
12. アプリケーション
13. INQ
14. STATPAC
15. SPSS
16. GMAP

プログラム指導員について

プログラム指導員は、大口利用者を有する連絡所または、ジョブ処理件数の多い連絡所のうちで最も利用頻度の高い利用者に対してセンターから依頼し、承諾を得たものです。

遠隔地の利用者で、プログラムの相談等がありましたら、下表の各連絡所所属のプログラム指導員に相談してくださるよう御願いします。

プログラム指導員一覧表

氏　名	所属及び連絡先	身　分	プログラム指導曜日	場　所	内　　容
富永　昌二	大阪電気通信大学　工学部 精密工学科 〒572 寝屋川市初町18-8 Tel 0720-24-1131(253)	助教授	適　時	研究室	FORTRAN
平野　俊雄	高松工業高等専門学校 機械工学科 〒761 高松市勅使町355 Tel 0878-67-0276	助教授	適　時	研究室	FORTRAN
西田　修身	神戸商船大学　商船学部 機関学科 〒658 神戸市東灘区深江南町 5丁目1番1号 Tel 078-453-2332(330)	助教授	適　時	研究室	FORTRAN
土井　光暢	大阪薬科大学　薬学部　薬学科 〒580 松原市河合2丁目10番65号 Tel 0723-32-1015(298)	助　手	毎週月～金曜日 午　前	研究室	FORTRAN
小川　喜弘	近畿大学原子炉工学科 〒577 東大阪市小若江3-4-1 Tel 06-721-2332	助　手	適　時	研究室	FORTRAN

氏　名	所属及び連絡先	身　分	プログラム 指導曜日	場　所	内　　容
村上　益美	大阪市立大学　工学部 建築学科 〒558 大阪市住吉区杉本3丁目 3番138号 Tel 06-692-1231(3437)	助　手	毎週木曜日 午　後	研究室	FORTRAN
長瀬　久明	兵庫教育大学 情報処理センター 〒673-14 兵庫県加東郡社町 下久米 942-1 Tel 07954-4-1101(466)	助　手	適　時	研究室	FORTRAN
平井　國友	奈良県立医科大学　医学部 医学科 〒634 橿原市四条町 840 Tel 07442-2-3051(2270)	助　手	毎週木曜日 午　後	研究室	FORTRAN
山田　勝稔	徳島大学工業短期大学部 生産機械工学科 〒770 徳島市南常三島町2の1 Tel 0886-23-2311(457)	助教授	適　時	研究室	FORTRAN
柳瀬　　章	大阪府立大学　総合科学部 総合科学科 〒591 堺市百舌鳥梅町4丁 804 Tel 0722-52-1161(2714)	教　授	毎週水曜日 午　後	研究室	FORTRAN
越桐　国雄	大阪教育大学　教育学部 物理教室 〒543 大阪市天王寺区南河堀 町4番88号 Tel 06-771-8131(230)	助　手	適　時	研究室	FORTRAN
近藤　敬一	阿南工業高等専門学校 電気工学科 〒774 阿南市見能林町青木 265 Tel 0884-22-2010(361)	助教授	適　時	研究室	FORTRAN

氏　名	所属及び連絡先	身　分	プログラム 指導曜日	場　所	内　　容
浅田　昌三	神戸女子薬科大学　薬学部 薬学科 〒658 神戸市東灘区本山北町 4-19-1 Tel 078-453-0031(201)	教　授	適　時	研究室	FORTRAN
堂垣　正博	関西大学　工学部 土木工学科 〒564 吹田市山手町 3-3-35 Tel 06-388-1121(5682)	講　師	適　時	研究室	FORTRAN
古谷　博史	高知医科大学　情報処理部 〒781-51 南国市岡豊町小蓮 Tel 0888-66-5811	助　手	適　時	研究室	FORTRAN PL/I
馬場口　登	愛媛大学　工学部　電子工学科 〒790 松山市文京町 Tel 0899-24-7111(3746)	助　手	適　時	研究室	FORTRAN
杉山　司郎	大阪工業大学　工学部 機械工学科 〒535 大阪市旭区大宮5丁目 16番1号 Tel 06-952-3131	講　師	毎週月曜日午前 中、火曜日終日	研究室	FORTRAN
佐藤　一郎	四国女子大学短期大学部 家政科 〒771-11 徳島市応神町古川 字戎子野123の1 Tel 0886-65-1300(118)	講　師	適　時	研究室	COBOL
太田　雅久	甲南大学　理学部　物理学科 〒658 神戸市東灘区岡本8丁 目9番1号 Tel 078-431-4341(283)	助教授	毎週火曜日 金曜日	研究室	FORTRAN

大型計算機利用に伴う利用者旅費について

利用者が、大型計算機センターを利用する場合、地域差を少なくするため遠隔地利用者には、利用者旅費支給の制度があります。これは、大型計算機センターに出張して計算機を利用する場合に旅費を支給する制度です。

利用者で旅費の支給を希望する場合は、下記要領によりセンター所定の申請書を提出してください。（大学院生及び科学研究費による利用者には旅費を支給できません。）

記

○日帰り旅行…第５，第６地区で京阪神地区の利用者（注参照）は、日帰り旅行申請書を利用希望日の前月２５日（必着）までに本センター共同利用掛まで提出して下さい。（日帰り出張回数は、１人当り月５回以内とします。）

○宿泊を伴うもの…京阪神地区以外の利用者は、申請書を利用希望日の前月２５日（必着）までに本センターに到着するように所属連絡所及び所属地区協を通じて提出して下さい。（センター滞在日数は、３日以内で月１回に限ります。）

○旅費は、後日、銀行振込みにより送金します。

○出張利用に関する問い合わせは、センター共同利用掛（０６-８７７-５１１１ 内線２８１５）までお願いします。

(注)京阪神地区の利用者（日帰り旅行適用者）は次の連絡所に所属する者

（第６地区）大阪府下の全連絡所

奈良県下　〃

兵庫県下（姫路工業大学、兵庫教育大学は宿泊の対象となる）の全連絡所

和歌山県下（和歌山高専は宿泊の対象となる）の全連絡所

（第５地区）京都府下（舞鶴高専は宿泊の対象となる）の全連絡所

滋賀県下（滋賀大学（彦根市）、滋賀県立短大は宿泊の対象となる）の全連絡所

注意事項　申請書の記入の際、次の点に御留意願います。
申請者の出張利用の理由欄には、特に本センターへ出張して計算機を利用しなければならない出張理由を具体的に記入して下さい。出張理由が明確でない場合、出張を認めませんので御了承願います。

PL/IのVモードについて（再掲載）

7月9日（月）から、PL／I（IBM仕様PL／I）のVモードがサービスされました。日本電気提供のPL／Iには、IBM仕様PL／I（以後PL／Iと記述）と標準PL／I（ANSI/EMCA標準PL／I）の2つがあります。Vモードがサービスされたのは、前者のPL／I のみであります。今後の機能拡張もPL／Iが中心に行われますので、利用者の方は以後なるべくPL／I を御利用ください。

PL／Iの使い方を簡単に説明しておきます。詳細な利用法については日本電気発行の説明書を御覧ください。

FGD04－4　PL／I 文法説明書

FGD05－5　PL／I プログラミング説明書

(1) コンパイラのリビジョン番号

Vモード　リビジョン番号　V010，コンパイラの大きさ　100KW

Rモード　リビジョン番号　R025，コンパイラの大きさ　90KW

(2) TSSでの使用法

システム選択レベルで次のいずれかのサブシステムを選択する。

Vモードを使用するとき、

SYSTEM?PL1V

Rモードを使用するとき、

SYSTEM?PL1R

TSS専用モードを使用するとき、

SYSTEM?PL1

翻訳・結合・実行はRUNコマンドで行う。

RUN〔␣〔入力プログラムファイル〕〔：オプション〕〔継続文字〕〕

〔　〕内は省略可能

入力プログラムファイル……原始プログラムファイル（群）、オブジェクトプログラムファイル（群）、またはH＊ファイルまたはV＊ファイルを指定する。＊または省略時カレントファイルが原始プログラムファイルとして扱われる。

オプション……コンパイラ、ローダ、リンカおよび実行時に対するオプションを指定する。

下線部分は省略時解釈

CCORE＝整数　：コンパイル時の主記憶容量をK語単位で指定する。

CCORE＝100

LCORE＝〔m〕〔，n〕（T／Rモードのとき）：ローダ（結合・編集処理）起動時に必要な主記憶容量を指定する。

m ： 利用者プログラムの大きさをK語単位で指定する。

n ： ロードテーブルサイズをK語単位で指定する。　LCORE＝50，14

LCORE＝整数（Vモードのとき）：リンカ（結合・編集）処理時に必要な主記憶容量をK語単位で指定する。　LCORE＝120

RCORE＝整数（T／Rモードのみ）：利用者プログラムが実行時に必要とする主記憶容量をK語単位で指定する。　RCORE＝40

TIME＝整数：利用者プログラムの実行時処理時間を秒単位で指定する。

TIME＝900

FILE＝修飾ファイル名〔，パーミッション〕（fc）：利用者プログラムが実行時に外部ファイルを使用するときにファイル名を指定する。fcはファイルに対応づけるファイルコード。パーミッションはREADまたはWRITE。

MARGINS＝m，n：原始プログラムとしての入力カードの有効範囲を指定する。

m ： 有効範囲の最初のカラム　m≧1

n ： 有効範囲の最後のカラム　n≦80　m＜n　MARGINS＝1，72

MULTI ：複数個のPL／I外部手続きからなるプログラムをまとめて翻訳する（多重翻訳機能）。　NMULTI

SNUMBER ：実行時に発生するエラーに対してエラートレースバックの情報を出力する。

NSNUMBER

オプションはこの他にも多数ある。プログラミング説明書を参照されたい。

継続文字……コマンド行を継続する場合、セミコロン（；）を入力プログラムファイル／オプションの後に指定する。

例1. TSSモードでカレントファイルより実行する。

```
SYSTEM ?PL1 OLD testprog
*RUN
```

例2. Vモードでオプションを使用して実行する。

```
SYSTEM ?PL1V NEW
*RUN A B C:CCORE=200 MULTI TIME=60 SNUMBER;
MORE?FILE=OUTDATA,W(01)
```

ファイルA，B，Cに登録されている原始プログラムをコンパイル時主記憶容量200K語で、多重翻訳機能を利用しコンパイルしている。実行時のオプションとして、処理時間を60秒に設定し、エラーが発生した場合にはトレースバック情報を出力させようとしている。プログラムの中からファイルコードO1でOUTDATAファイルにデータを出力している。SNUMBER の後に継続文字を使用しているので次の行にシステム側からMORE？が出力され、オプションの入力要求がある。

(3) バッチでの使用法

$PL1文のオプションに〝R〟または〝V〟を指定する。省略時は〝R〟となる。$GO文のオプションにも〝R〟または〝V〟および〝PL1〟を指定する。またRモードの時は$SETUP文が必要である。

$PL1文のオプション

下線のあるものは省略時の既定値である。

V：Vモードで実行可能なオブジェクトコードを生成する。

R：Rモードで実行可能なオブジェクトコードを生成する。

LSTIN：原始プログラムのリストを出力する。　NLSTIN

MARGINS(m,n)：原始プログラムの入力カードの有効範囲を指定する。

MARGINS(2, 72)

MULTI：複数個のPL/I外部手続きからなるプログラムをまとめて翻訳する（多重翻訳機能）。　NMULTI

SNUMBER：実行時に発生するエラーに対してエラートレースバックの情報を出力する。

NSNUMBER

オプションはこの他にも多数ある。プログラミング説明書を参照されたい。

継続文字……コマンド行を継続する場合、セミコロン(；)を入力プログラムファイル/オプションの後に指定する。

例1. TSSモードでカレントファイルより実行する。

```
SYSTEM ?PL1 OLD testprog
*RUN
```

例2. Vモードでオプションを使用して実行する。

```
SYSTEM ?PL1V NEW
*RUN A B C:CCORE=200 MULTI TIME=60 SNUMBER;
MORE?FILE=OUTDATA,W(01)
```

(4) RモードとVモードの相違点

項　　目	Rモード	Vモード
AREA変数の最大サイズ	65 K語	16 M語
2進浮動小数点データのベースモード	2 進	16 進
2進浮動小数点の最大精度	単　27ビット 倍　63ビット	単　24ビット 倍　60ビット
PL／I プログラムがメインルーチンのときのPROC文のOPTIONS（MAIN）	不　要	必　要
PROC OPTIONSオプションに言語名が指定できる（他言語との連結）	×（但し、他言語を呼び出すことは可）	○
オーバレイ機能	○	×
FLOATDECオプション	×	○

（システム管理掛）

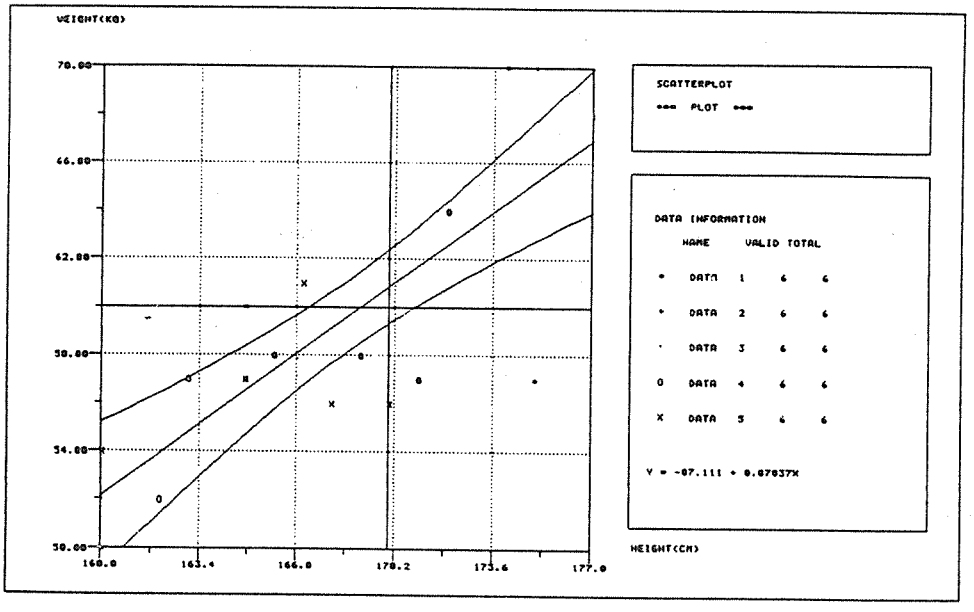
アプリケーション・パッケージの追加及びバージョンアップについて（再掲載）

９月３日（月）から下記のアプリケーション・パッケージの追加とバージョンアップを行います。なお、下記のデック構成の中の〔 〕で囲まれたオプションは、省略可能ですが、ジョブクラスに応じて最大値を指定してください。ｔｔはＣＰＵ時間、ｓｓｓｓは出力行数を示しています。

(1) 汎用統計解析パッケージ（ＡＳＰ）バージョンＲ２．０を新たに登録します。これは、利用者の収集したデータを解析するための会話型統計パッケージで、基本的なグラフ作成から高度な統計分析まで多様な機能が備わっています。なお、詳細については、日本電気説明書：汎用統計解析パッケージ説明書（ＦＸＢ５１－２）を参照してください。

＜使用例＞

```
SYSTEM ?ASP   ・・・・・①

**  ASP:  " WELCOME ! "    START AT 13:08:26 (R2.0)   **

DATA BANK NAME?
I*?BANK        ・・・・・②

PROC?
I*?INI         ・・・・・③
EXECUTE?
I*?Y           ・・・・・④
       ASP DATA BANK INITIALIZED

PROC?
I*?INP         ・・・・・⑤
VAR NAME?
I*?HEIGHT, WEIGHT, CONT   ・・・・・⑥
FORMAT?
I*?(V)         ・・・・・⑦
FILE NAME?
I*?DATA-FL     ・・・・・⑧
NEW DATA?
I*?MDL1.P      ・・・・・⑨

DATA NAME = MDL1     .P   VARIABLE NO. =        3   CASE NO. =       30

PROC(MDL1   .P)?
I*?PLO(REG, CON, GRI, AXS=170, 60)        ・・・・・⑩
VAR NAME?
I*?HEIGHT(L, H, CM)*WEIGHT(L, H, KG)      ・・・・・⑪
CLASSIFY?
I*?CONT        ・・・・・⑫
TITLE?
I*?***  PLOT  ***        ・・・・・⑬
```




```
PROC (MDL1    . P) ?
I*?DONE          •••••⑭
      ************************************************************************
      *                                                                      *
      *          ASP:   " WELL  DONE  !  "                                   *
      *                                                                      *
      *                 DATE:  06/26/84        TIME:  14:24:50              *
      *                                                                      *
      *                 CPTIME:      0.01      ELAPTIME:          9.46   (SEC)   *
      *                                                                      *
      ************************************************************************
```

＜説 明＞

① ＡＳＰを起動させる。

② 統計データバンクのファイル名を指定する。データをこのファイルに格納しないのであれば不要。また、このファイルは、直編成であり実行時に拡張を行わないので、容量を大きめに作成しておく。容量の計算は、マニュアル P. 148 を参照のこと。

③ 統計データバンクを最初に使用する場合は、ＩＮＩＴＩＡＬＩＺＥコマンドで必ず初期化する。また、このコマンドを実行すると以前に入っていたデータがすべて消去される。

④ 実行の可否が質問される。実行する場合は“Ｙ”を入力する。

⑤ データの入力を行うＩＮＰＵＴコマンド。

⑥ 変数名を入力する。

⑦ データのフォーマットでFORTRANのFORMAT文と同じ。省略時は、（Ｖ）である。

⑧ 原始データファイルのファイル名を入力する。省略時は、端末からの入力となる。

⑨ 出力データ名とコメントを入力する。データ名の最後に“.Ｐ”を付けることによってデータを統計データバンクに格納することができる。

⑩ 散布図を描くＰＬＯＴコマンド。グラフィックモード（ＰＬＯＴ）とキャラクタモード（ＣＰＬＯＴ）の２種類がある。グラフィックモードで使用できる端末は、２階の第２TSS端末室のＮ６３００モデル２０Ａだけである。

⑪ 横軸、縦軸に対応する変数を入力する。省略時は、最初の２つの変数が対象となる。

⑫ 分類するための変数を入力する。省略時は、分類しないで対象データの散布図を描く。

⑬ タイトルを入力する。

⑭ ＡＳＰを終了させる。

(2) システムダイナミックス言語（DYNAMO／Ｆ－６）を新版（Ｒ４．６）に置き換えます。以下のデック構成で使用できますが、この版から使用言語がＦＯＲＴＲＡＮ７７（Ｖモード）になり、使用法が少し変更になりました。なお、詳細については、日本電気説明書：システムダイナミックス言語説明書（ＦＸＥ１２－８）を参照してください。

```
カラム1        8          16
-------------------------------------------------
$              JOB        課題番号$パスワード，ジョブクラス
$              CPROC      DYBGN
                 •
                 •    DYNAMO／F－6モデル
                 •
$              CPROC      DYCOM〔,,tt,,,ssss〕
$              FRT77      V,NASTER,ASMDARY    ・・・・①
                 •
                 •    利用者FORTRAN関数プログラム
                 •
$              CPROC      DYRUN〔,,tt,,,ssss〕
$              ENDJOB
```

＜説 明＞

① ＦＯＲＴＲＡＮ関数プログラムを定義する場合は、＄ ＦＲＴ７７文のオプションに、“Ｖ,NASTER,ASMDARY”を指定する。また、関数プログラムを定義しない場合は、この部分を省略する。

(3) 離散型シミュレーション言語（ＧＰＳＳ／Ｖ－６）を新版（Ｒ４．１）に置き換えます。以下のデック構成で使用できますが、この版からＪＩＳコードになりましたので、＄ ＢＣＤ文が不要になりました。なお、詳細については、日本電気説明書：離散型シミュレーション言語説明書（ＦＸＥ０２－４）を参照してください。

１）ＨＥＬＰブロックを使用しない場合

```
カラム1        8          16
------------------------------------------------
  $        JOB        課題番号$パスワード，ジョブクラス
  $        CPROC      GPSSG(,,tt,,,ssss)
             •
             •    GPSS／V－6モデル
             •
  $        ENDJOB
```

２）ＨＥＬＰルーチンを使用する場合

```
カラム1        8          16                        73
------------------------------------------------------------
  $        JOB        課題番号$パスワード，ジョブクラス
  $        CPROC      GPBGN
  $        FORTRAN    JIS,HEX                  HELP1 ・・・・・①
         SUBROUTINE   HELP1
             •
             •    利用者ＨＥＬＰルーチン
             •
  $        CPROC      GPCOM
  $        GETRWD     FC=R2,NA=HELP1           ・・・・・②
  $        CPROC      GPRUN(,,tt,,,ssss)
             •
             •    GPSS／V－6モデル
             •
  $        ENDJOB
```

＜説 明＞

① ７３カラム目からサブルーチン名を指定する。

② “ＮＡ＝”には、サブルーチン名を指定する。

(4) 斜面安定解析プログラム（ＩＣＥＰ－６／ＳＬＯＰＥ－２）を新版（Ｒ２．５）に置き換えます。以下のデック構成で使用できますが、プロッタ出力機能は、出力可能なプロッタがセンターに設置されていないので、使用できません。なお、詳細については、日本電気説明書：斜面安定解析説明書（ＦＸＩ４３－３）を参照してください。

```
カラム1          8          16
-------------------------------------------------
    $            JOB        課題番号$パスワード, ジョブクラス
    $            CPROC      PLIB(, , tt, , , ssss)
    $            BCD
                   •
                   •    BCDまたはCOMDKセグメント
                   •
    $            ENX
    $            ENDJOB
```

(8) ＩＳＡＰ図形処理サブシステム（ＩＳＡＰ－６１ＧＲＡＰＨＩＣ Ｖ２）を新版（Ｒ２．０）に置き換えます。以下にデック構成及び使用例を示します。なお詳細については、日本電気説明書：ＩＳＡＰ図形処理サブシステム説明書（ＦＸＩ５７－２）を参照してください。

```
カラム1          8          16
-------------------------------------------------
    $            JOB        課題番号$パスワード, ジョブクラス
    $            CPROC      DISAP(, , tt, , , ssss)
    $            PRMFL      13, W, S, 課題番号／ファイル名
    $            PRMFL      40, W, S, 課題番号／ファイル名
                   •
                   •    ＩＳＡＰ－６入力データ
                   •
    $            ENDJOB
```

＜使用例＞

```
SYSTEM ?SAPV――ＩＳＡＰ／ＧＲＡＰＨＩＣ Ｖ２を起動させる
INPUT TERMINAL TYPE

     N6921 = 1    N6922 = 2    N6960 = 6

     TERMINAL TYPE
=2――使用する装置を指定する
      （注）Ｎ６９６０を使用する場合は，”＄＄＄CON, TSS, , GDP”で接続する
```

```
カラム1          8          16
-------------------------------------------------
  $          JOB        課題番号$パスワード，ジョブクラス
  $          CPROC      PLIB〔，，tt，，，ssss〕
  $          BCD
               •
               •    BCDまたはCOMDKセグメント
               •
  $          ENX
  $          ENDJOB
```

(8) ＩＳＡＰ図形処理サブシステム（ＩＳＡＰ－６１ＧＲＡＰＨＩＣ　Ｖ２）を新版（Ｒ２．０）に置き換えます。以下にデック構成及び使用例を示します。なお詳細については、日本電気説明書：ＩＳＡＰ図形処理サブシステム説明書（ＦＸＩ５７－２）を参照してください。

```
カラム1          8          16
-------------------------------------------------
  $          JOB        課題番号$パスワード，ジョブクラス
  $          CPROC      DISAP〔，，tt，，，ssss〕
  $          PRMFL      13，W，S，課題番号／ファイル名
  $          PRMFL      40，W，S，課題番号／ファイル名
               •
               •    ＩＳＡＰ－６入力データ
               •
  $          ENDJOB
```

＜使用例＞

```
SYSTEM ?SAPV――ＩＳＡＰ／ＧＲＡＰＨＩＣ　Ｖ２を起動させる
INPUT TERMINAL TYPE

     N6921 = 1    N6922 = 2    N6960 = 6

     TERMINAL TYPE
=2――使用する装置を指定する
      （注）Ｎ６９６０を使用する場合は，" $$$CON，TSS，，GDP" で接続する
```

```
      *****  ISAP-5 / GRAPHIC  V2   (R2.8)  *****


INPUT DATA FILE NAME   : INTERFACE FILE FILE-13
(C:CHARA)-FILE-13 FILE NAME
(R)       -RETURN
? EX4-FL13 ――― 入力情報ファイル名（１３番のファイル）を入力する



INPUT DATA FILE NAME   : INTERFACE FILE FILE-40
(C:CHARA)-FILE-40 FILE NAME
(R)       -RETURN
? EX4-FL40 ――― 解析情報ファイル名（４０番のファイル）を入力する



INPUT MODEL SEQUENCE NUMBER
EXISTING MODEL SEQUENCE NUMBER =  001
(N:INTEGER)-MODEL SEQUENCE NUMBER
( )        -EXISTING MODEL SEQUENCE NUMBER
(R)        -RETURN
? 1 ――― 順序番号に１を指定する
```

```
ENTER-SELECT FIGURE

(IN)-INFORMATION
(ST)-STRUCTURE
(GR)-GRAPH
( ) -RETURN
? IN ――― 入力データの概要情報を選択する
```

```
      *****  MODEL INFORMATION  *****

IDNT  : DIRECT INTEGRATION  TIME-HISTORY

ANALYSIS TYPE              : DIRECT INTEGRATION

NUMBER OF NODAL POINTS     : 00062

NUMBER OF ELEMENT TYPES    : 0001

  ELM1 : 0000   ELM2 : 0000   ELM3 : 0000   ELM4 : 0030   ELM5 : 0000
  ELM6 : 0000   ELM7 : 0000   ELM8 : 0000   ELM9 : 0000   ELMA : 0000

MAXIMUM AND MINIMUM  NODAL POINT COORDINATES

  (MAXIMUM)    X :  9.00000E+00   NODE NUMBER(0001)
               Y :  3.15000E+00   NODE NUMBER(0002)
               Z :  9.00000E+00   NODE NUMBER(0061)

  (MINIMUM)    X :  0.00000E+00   NODE NUMBER(0001)
               Y :  2.35000E+00   NODE NUMBER(0001)
               Z :  0.00000E+00   NODE NUMBER(0001)

NUMBER OF FREQUENCIES  : 000


( )-RETURN
?--------- 戻りを指定する
```

```
ENTER-SELECT FIGURE

(IN)-INFORMATION
(ST)-STRUCTURE
(GR)-GRAPH
( ) -RETURN
? GR ---- 時刻歴応答グラフ図を選択する




ENTER-SELECT   KIND OF GRAPH  OR  RETURN

(ACC)-ACCELERATION
(VEL)-VELOCITY
(DIS)-DISPLACEMENT
(STR)-STRESS
( )  -RETURN
? ACC ---- 加速度時刻歴応答グラフ図を選択する
```

```
ENTER-SELECT THE WAY TO DESIGN X-AXIS.

(A)-AUTOMATIC
(M)-MANUAL
(R)-RETURN
? A――― X軸を自動作成するように指定する
```

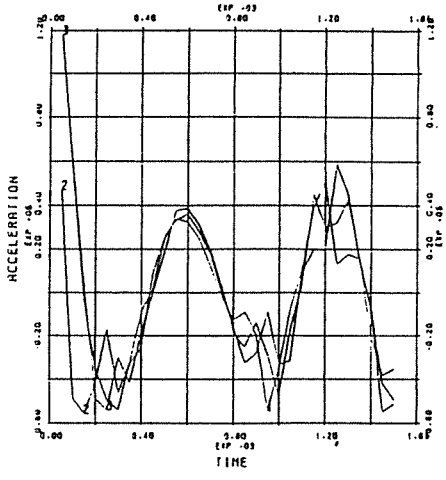
```
ENTER-SELECT THE WAY TO DESIGN Y-AXIS.

(A)-AUTOMATIC
(M)-MANUAL
(R)-RETURN
? A――― Y軸を自動作成するように指定する
```

```
      *****  GRAPH (ACCELERATION)  *****

 -- COMMAND --          ';' : COMMAND SEPARATOR

(INI) -INITIALIZE                      : INI
(ND)  -NODE NO. & DIS/ROTA-COMPO       : ND   (NODE NO.) (COMPONENT-CODE)
(ALEN)-AXIS LENGTH                     : ALEN (X)/(Y)/(XY) ..(CM)
(GRVH)-GRID POINT VALUE HEIGHT         : GRVH (X)/(Y)/(XY) ..(CM)
(GRVF)-GRID POINT VALUE FIGURES        : GRVF (X)/(Y)/(XY) (FIGURES)
(GPPS)-GRID POINT PLOT SIDE            : GPPS (X)/(Y)/(XY) (1)/(2)/(3)
(GVPS)-GRID POINT VALUE PLOT SIDE      : GRVF (X)/(Y)/(XY) (1)/(2)/(3)
(AXID)-AXIS IDENT                      : AXID (X)/(Y)/(XY) (IDENT)
(AIDH)-AXIS IDENT HEIGHT               : AIDH (X)/(Y)/(XY) ..(CM)
(PST) -PLOT START TIME                 : PST  (TIME)
(PET) -PLOT END TIME                   : PET  (TIME)
(PF)  -PILE UP FIGURE                  : PF
(DI)  -DELETE INFORMATION              : DI
(D)   -DRAWING GRAPH                   : D
(MEN) -MENU                            : MEN
(RTN) -RETURN                          : RTN
? GRVH XY 0.27
? ND 10 2; ND 12 2; ND 14 2
? D
```

節点10，12，14の第2成分についての加速度時刻歴応答を指定する

表示の開始を指定する

```
(ACCELERATION TIME HISTORY)  : DIRECT INTEGRATION  TIME-HISTORY
NODE NUMBER     :  0010
 COMPONENT :  Y-DIREC (2)
 MAX-ACCEL :  1.1820E+05
    TIME   :  5.0000E-05
 MIN-ACCEL : -5.4649E+04
    TIME   :  9.5000E-04
NODE NUMBER     :  0012
 COMPONENT :  Y-DIREC (2)
 MAX-ACCEL :  4.7189E+04
    TIME   :  5.0000E-05
 MIN-ACCEL : -5.5635E+04
    TIME   :  1.5000E-04
NODE NUMBER     :  0014
 COMPONENT :  Y-DIREC (2)
 MAX-ACCEL :  1.1819E+05
    TIME   :  5.0000E-05
 MIN-ACCEL : -5.4122E+04
    TIME   :  2.5000E-04
START-TIME :  5.0000E-05
END-TIME   :  1.5000E-03
```




```
INI ND ALEN GRVH GRVF GPPS GVPS AXID AIDH PST PET
NPF PF II DI D MEN RTN
? RTN
```

表示の終了を指定する

```
ENTER-SELECT THE WAY TO DESIGN X-AXIS.

(A)-AUTOMATIC
(M)-MANUAL
(S)-SAME
(R)-RETURN
? R――― 戻りを指定する
```

```
ENTER-SELECT   KIND OF GRAPH  OR  RETURN

(ACC)-ACCELERATION
(VEL)-VELOCITY
(DIS)-DISPLACEMENT
(STR)-STRESS
(  )  -RETURN
? ――― 戻りを選択する
```

```
ENTER-SELECT FIGURE

(IN)-INFORMATION
(ST)-STRUCTURE
(GR)-GRAPH
( ) -RETURN
?――― 戻りを選択する
```

```
ENTER SELECT  EXECUTION  OR  STOP
  (E)-EXECUTION
  (S)-STOP
? S――― ISAP/GRAPHIC V2の終了を指定する
```

（システム管理掛）